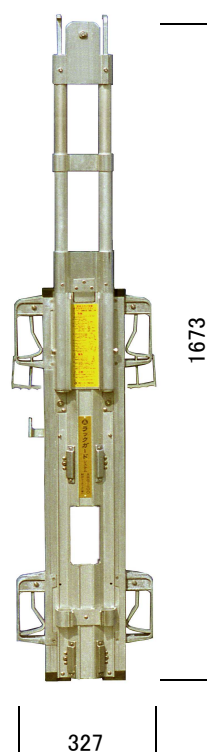


ARG親綱支柱 ARG-OP 2.5 kg

ラックガード本体 ARG-200 8.9 kg

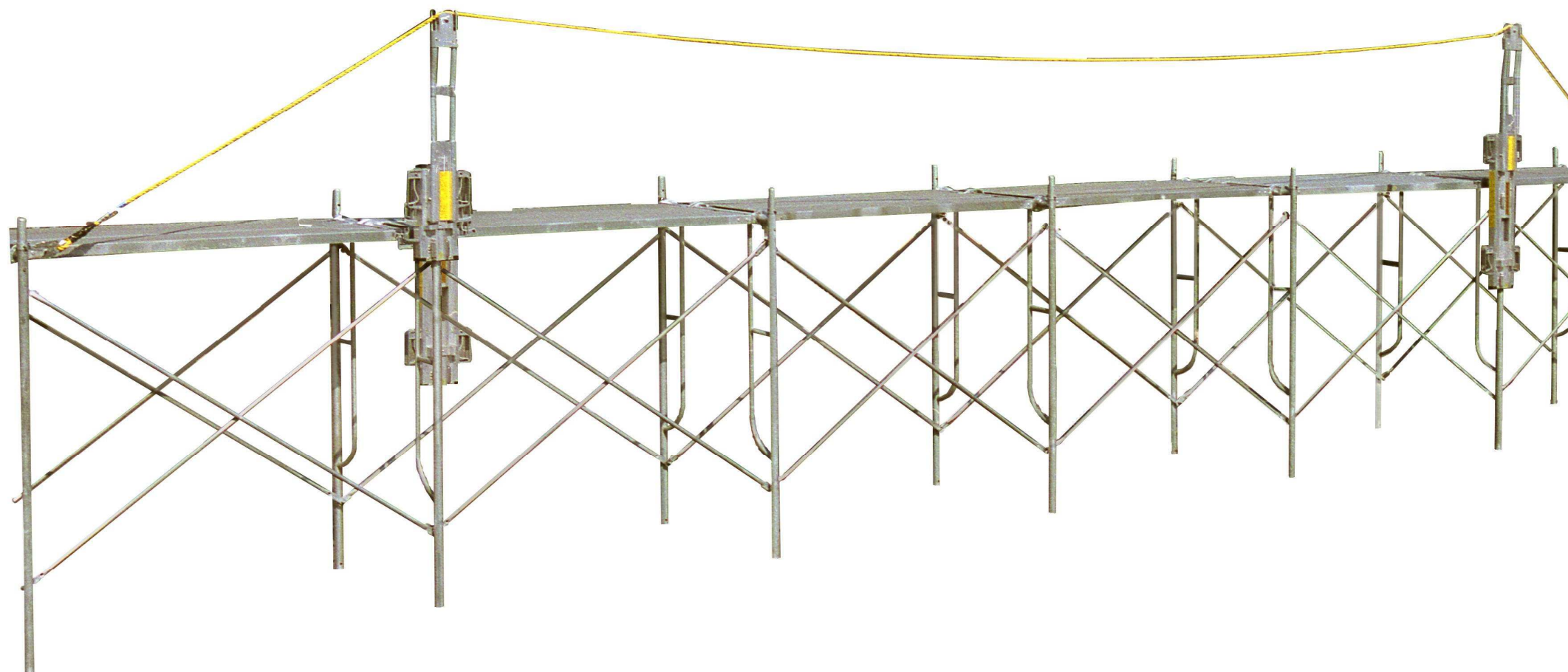


ARG親綱支柱とARG親綱支柱本体を
組合わせた状態で出庫されます。

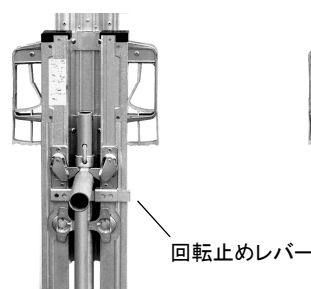
先行手すり用本体(ARG-100)とは
形状が違います。

アルミ合金製

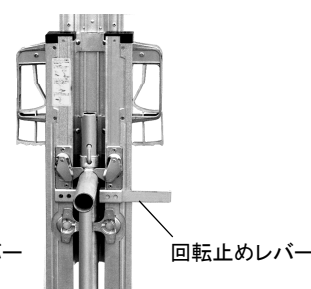
- ① ラックガードシステム親綱支柱の上下移動や固定は建枠から取り外すことなく1人で簡単に作業できます。
- ② 親綱支柱の移動の際、手を離してしまっても瞬時にブレーキ装置が作動し落下することがありません。
- ③ 外れ止めガイドローラーが常に建枠支柱を保持する構造の為、建枠横架材通過時にも脱落しません。
- ④ 親綱支柱は建枠支柱に沿って上下移動するため、建枠やピッチのズレにも関係なくスムーズに使用できます。
- ⑤ ラックガードシステム スライド先行手すりを併用することにより、作業をより安全に行うことができます。
- ⑥ 組立解体には工具は不要です。
- ⑦ (社) 仮設工業会 認定取得。100kgの落下阻止試験合格。



ARG-100との違い
ARG-200には「回転止めレバー」が装備さ
れています。



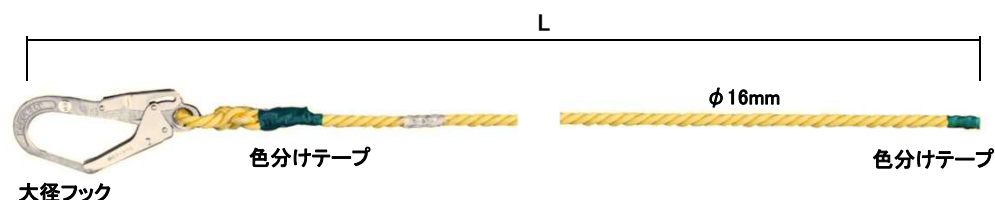
【使用時】



【移動時】

親綱

仮設工業会認定品
綱径：φ16mm
材質：ポリエステル



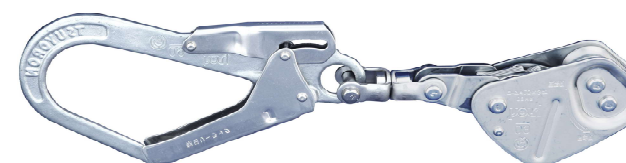
| 品番 | 長さ | 重量 | 色分け |
|---------|------|--------|------|
| R16-6M | 6 m | 1.5 kg | 緑 |
| R16-8M | 8 m | 1.8 kg | 赤 |
| R16-10M | 10 m | 2.1 kg | グレー |
| R16-12M | 12 m | 2.4 kg | 青 |
| R16-15M | 15 m | 2.8 kg | 黒 |
| R16-20M | 20 m | 3.6 kg | オレンジ |
| R16-25M | 25 m | 4.3 kg | 茶 |

20m、25mは認定外です。

緊張機

仮設工業会認定品

JK-F 1.1 kg

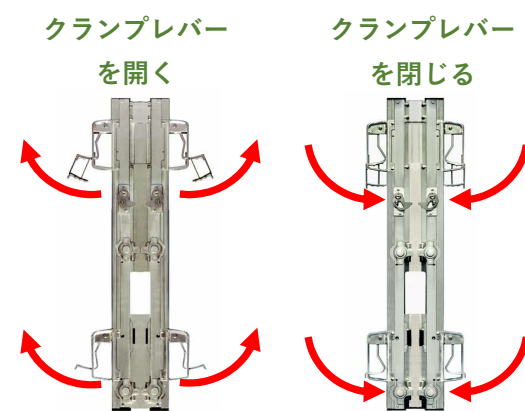
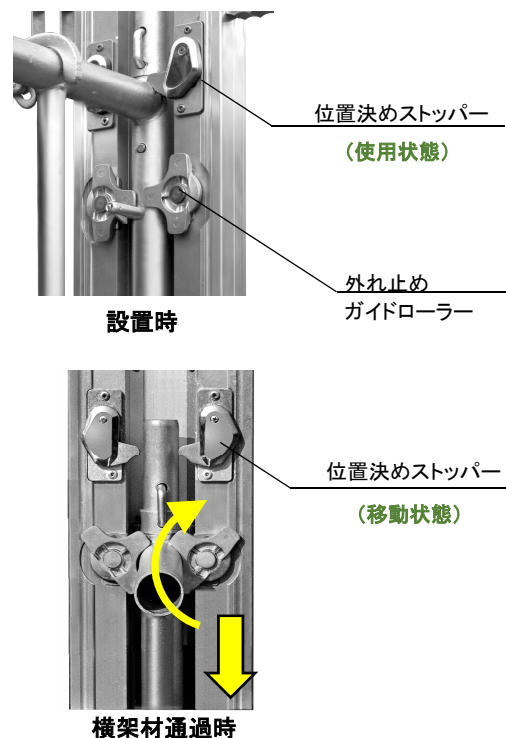
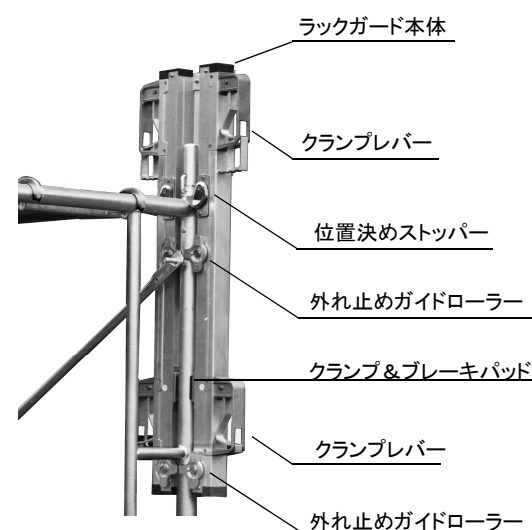


JK-M 1.1 kg



● ラックガードシステムとは

- ① 建柱支柱をレールにして上下移動できます。
- ② 特許のガイドローラーで横架材等も通過できます。
- ③ ガイドローラーは常に建柱支柱を保持して、脱落することがありません。
- ④ ブレーキ装置を備えており、万が一に手を離しても落下しません。
- ⑤ 軽く、錆びにくいアルミ合金製です。



- ・上下のクランプレバーは連動しています。
- ・クランプレバーを開くと、位置決めストッパーが開き、ブレーキが解除され、上下動が可能となり横架材等を通過できます。
上下移動する時はクランプレバーを開く。
使用状態では位置決めストッパーを横架材に乗せる。

- ・クランプレバーを離すとブレーキが効きます。
- ・クランプレバーを閉じる(押し込む)とブレーキパッドが支柱を圧着します。
使用状態ではクランプレバーを押し込む。

- ・外れ止めガイドローラーはクランプレバーの操作に関係なく回転します。



位置決めストッパー

クランプ&ブレーキパッド

■ 組立手順

- ① 1段目の建柱を横にし、クランプレバーを操作し親綱支柱を上部から差し込む。

親綱支柱は親綱を取付けやすいように、建柱の下方に固定する。



- ② 親綱支柱を取付けた建柱を筋違で組立てる。
必ず親綱支柱を取付けた建柱の隣に親綱の控えを設ける建柱があること。



- ③ 親綱等を組込む。
控え建柱に親綱のフック、反対側には緊張器を固定し、親綱支柱に親綱を通す。



- ④ 親綱支柱所定の位置に移動しセットする。
1.位置決めストッパーを建柱の横架材に掛け、クランプレバーを閉じる。
2.回転止めレバーをセットする。
3.親綱を緊張する。



- ⑤ 次の段へ移動するには
1.親綱の緊張を緩める。
2.親綱と緊張器のフックを次の段に掛ける。
3.回転止めレバーを開き、クランプレバーを操作し移動する。
4.④の手順を行う。